

第6次宝塚市総合計画構成（素案）のコンセプト

①市民との協働による計画づくり

⇒（1）市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書の「まちづくりの視点」と6つの「めざすまちの姿」、基礎調査報告書、市民アンケート調査報告書等を踏まえて、今後のまちづくりの方向性を審議会で議論し、総合計画を策定する。

②分かりやすい計画づくり

⇒総合計画は市民と行政の共有物。市民にも分かりやすい計画づくりを行う。

- （1）①構成は極力シンプルにする。
 - ②内容は簡潔に記載する。（特に「基本構想」）
 - ③重複した内容は極力避ける。
 - ④上記により 100 ページ程度を想定。
- （2）総合計画が一目で分かるように全体像を最初に掲載する。
- （3）基本構想を共有していくことが重要となることから、序論はなるべくコンパクトにする。（基礎調査報告書や市民アンケート結果などの必要な情報は付属資料に盛り込む）
- （4）基本構想の将来都市構造は、基本的な考え方を簡潔に記載し、具体的な内容は基本計画に定める。

③重点施策を意識したメリハリある計画づくり

⇒（1）市としての重点を明確にし、メリハリある計画づくりを行う。

④成果を評価しやすい計画づくり

⇒（1）成果指標を設定することにより、成果を評価しやすい計画づくりを行う。